



# 市議会だより

かかみがはら

発行  
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69  
電話058-383-2001

編集  
市議会だより編集委員会



東部市民運動会で行った町内対抗大縄跳び（10月8日・那加第二小学校）

## 9月定例会

平成28年度一般会計決算を認定	2
委員会審査	4
審議結果	7

### 市政を問う 一般質問

平成28年度決算	8
本市の救急体制	9
新産業振興ビジョンの策定	10
暮らしを守るための浸水対策	11
市民の声、ひとこと	12

# 平成28年度一般会計決算 総額507億6979万円を認定 鵜沼市民サービスセンター建設事業など

平成29年第3回定例会を9月1日から9月27日までの27日間の会期で開催しました。市長から提出された議案は、平成28年度一般会計決算をはじめとする29案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり承認・認定・可決・同意しました。

## 平成28年度 一般会計決算

### 市長提案理由説明要旨

平成28年度は、国のアベノミクスの推進により、雇用・所得環境も着実に改善し、景気の緩やかな回復、拡大への転換をうかがわせる年でした。

そのような中、本市は「しあわせ実感かかみがはら総合戦略」のもと、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって元気で豊かな地方を創生するという大きなテーマを掲げ、本格的な挑戦を始めました。

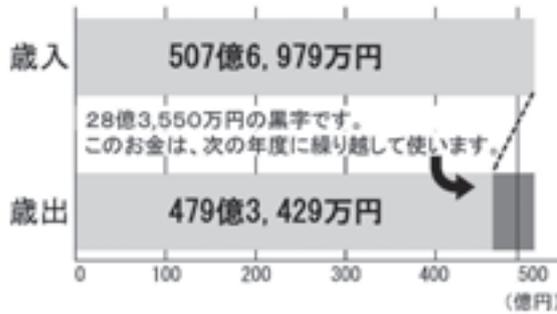
地方創生の推進、また子どもたちの夢と誇りを

育み、世界に誇れる博物館とするため、かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル事業を実施したほか、移住定住や企業支援、シティブロモーションを行いました。

また平成28年度も、日本は多くの自然災害に見舞われた年でしたが、本市においては、鵜沼市民サービスセンターの建て替えを完了させるとともに、本庁舎建て替えに向けて基本設計に着手するなど、大規模災害を想定し、その活動拠点となる施設整備に関する取り組みを推進しました。

このように、地方創生に向けた取り組みに対し

平成28年度の歳入・歳出（一般会計）



て積極果敢に挑むとともに、市民の皆様と対話しながら、総合計画に掲げた取り組みを着実に推進し、まちと人の安心・安全につながる施策を展開した1年でした。

## 平成28年度の 主な事業

### ●航空宇宙科学博物館リニューアル事業

米国のスミソニアン航空宇宙博物館と連携協定を締結し、魅力ある展示物の確保に努めたほか、県と共同でリニューアル工事を実施しました。

### ●鵜沼市民サービスセンター建設事業

公共施設100%耐震化に向けた取り組みとして、耐震性に不安のあった鵜沼市民サービスセンターを建て替え、うぬま



3月に完成した鵜沼市民サービスセンター

子ども館と東保健センターを併設する複合施設として整備しました。

### ●シティブロモーション推進事業

ウェブサイトやSNS、パンフレットなどのさまざまな手法を使って、本市の魅力や暮らしの様子を効果的に発信することで移住定住の促進を図りました。



移住定住ウェブサイト

### ●特定不妊治療助成事業

一般不妊治療助成に加え、体外受精・顕微授精といった特定不妊治療に要した費用のうち、保険適用外の費用の一部を助成し、妊娠を望む家庭への支援を行いました。

平成29年度  
一般会計補正予算

当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算にそれぞれ2億9511万3千円を追加するもので、補正後の予算総額は473億4653万7千円となりました。

歳入

○国庫支出金

1384万円

○繰越金

2億8127万3千円

歳出の主なもの

○産業文化センター冷温水発生機更新事業

老朽化が進んでいる産業文化センターの冷温水発生機を更新するものです。2809万1千円

○高齢者施設スプリンクラー等整備支援事業

入所者の安全・安心を確保するために、民間の高齢者施設が実施する消防用スプリンクラーなどの整備費用の一部を助成するものです。1030万9千円

○舞台照明更新事業

1030万9千円

老朽化が進んでいる市民会館の舞台照明設備を平成31年度に更新するため、平成29年度では設計を行うものです。634万8千円



舞台照明設備を更新する市民会館

議員派遣

○市議会だよりの編集に関する調査

東京都小金井市と多摩市に、10月26日から2日間、市議会だよりの編集に関する調査をするため、議員を派遣するものです。派遣議員

古川明美、水野岳男、塚原甫、小島博彦、指宿真弓、津田忠孝

その他の議案

工事請負契約の締結

雄飛ヶ丘第2住宅B棟耐震補強等工事（建築）の契約を、天龍・大竹特定建設工事共同企業体と2億1891万6千円で締結するものです。

土地の処分

川島小網町地内の土地を、株式会社ヤマモトに5744万円で売却するものです。

意見書

今定例会に議員から提出された3つの意見書のうち、左の2つの意見書を可決しました。

可決した意見書は、衆参両院議長と各関係行政庁に送付しました。

●「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に基づく補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

●「全国森林環境税」の創設に関する意見書

●木曾川く夢と浪漫くまちづくり事業

木曾川を中心として、木曾川河畔から大安寺川沿い、中山道鶴沼宿を拠点とした各務野歴史街道に至る周辺一帯の歴史・景観拠点の整備を行いました。

●地域消防力強化事業

本市に在学する若い世代や女性の消防団員を確保するため、個人の能力や技術を生かすことのできる特定の活動や役割など、職務の範囲を限定した消防団員を任用する機能別団員制度を導入し、消防団活動の活性化を図りました。



防災衣の試着を手伝う機能別消防団員

●らくらく体操広場事業

高齢者の介護予防のため、市内5会場で、誰もが気軽に参加できる運動サロンを開設しました。



申し込み不要の「らくらく体操広場」

●勤労青少年運動場再整備事業

総合運動公園（旧・勤労青少年運動場）のキャンプ場や芝生広場などを再整備し、野外スポーツ施設の拠点としての環境を整えました。

●防災行政無線統合事業

市内全域で迅速かつ確実な緊急情報の伝達ができるよう、旧各務原地区（デジタル）と旧川島地区（アナログ）の防災行政無線を統合しました。

### 委員会審査

今期定例会に提出された各案件を詳しく審査するため、9月19日から22日までの4日間で委員会を開催し、審査を行いました。  
各委員会での主な質疑内容は次のとおりです。

#### 総務常任委員会

##### 平成28年度一般会計決算の認定(所管分)

▼問 市税の不納欠損の件数とその理由は。

▼答 平成28年度の不納欠損は、全体で2556件であった。

再三の催告や調査にもかかわらず5年の時効となったものが438件、生活困窮や所在不明などにより不納欠損となったものが1488件、死亡・競売・破産などによって無財産となり不納欠損したものが630件であった。

▼問 市民相談のうち、消費生活相談が多いが、その傾向と対応は。

▼答 インターネット上でのトラブルに関する相

談が年々増えている。

こうした相談に的確に対応するため、消費生活相談員を配置している。

また、相談員は消費生活センターや県の研修に参加し、スキルアップを図っている。



消費生活相談員による市民相談

▼問 固定資産税が増加した要因は。

▼答 土地に関しては、地価の下落でわずかに減少した。

家屋は、取り壊しが7

10棟あった一方、新築家屋が913棟あり、結果として固定資産税全体では税収が増加した。

▼問 エリア担当職員に対する主な相談内容は。

▼答 多いのは地元での草木の繁茂や道路の破損などの困りごとの相談であり、迅速に対応している。

▼問 個人番号カードの交付状況は。

▼答 平成28年度中の交付は8083枚、平成28年度末の交付枚数は9607枚であり、本市の人口に対する交付率は6.5%となった。

▼問 寄付されたふるさと納税は3億9875万7千円であるが、市外へ寄付されたことによる減収額は。

▼答 平成28年度にふるさと納税によって減収になったのは6584万4729円である。

##### 平成28年度国民健康保険事業特別会計決算の認定

▼問 特定健康診査の啓発方法と受診率は。

▼答 平成28年度は、新たに夜間の電話勧奨を行ったほか、勧奨通知を見直し、平成27年度の3倍となる約1万3000人に案内通知を送付した。受診率は32.6%となる見込みである。



対象者別に内容を変えた勧奨はがき

▼問 差し押さえ件数が平成27年度の3倍となる155件となった理由は。

▼答 平成28年度からは、

専門の職員を1人あてた2人体制で滞納整理に取り組み、払える能力のある方には納付いただくという大原則のもとで行ったものである。

#### 民生消防常任委員会

##### 平成28年度一般会計決算の認定(所管分)

▼問 学童保育の民間委託の利点として、人材の確保と民間ノウハウの利用をあげ3校を委託したが、実績は。

▼答 今回委託した事業者はさまざまな市で学童保育の実績があり、スポーツ鬼ごっこや学びを入れたパズル、川柳づくりなどを新たに取り入れるなど、保護者からも好評を得ている。

▼問 不妊治療に対する助成の実績は。

▼答 一般不妊治療については、49人に助成した。また、平成28年度より実施した特定不妊治療については、98人に助成した。

▼問 那加中央保育所と東海中央病院で行われている病児・病後児保育事業の利用人数について、どのように分析しているか。

▼答 那加中央保育所の病後児保育室の利用は、平成27年度は1利用者が3回のみで、平成28年度の利用実績はない。

一方、東海中央病院の病児・病後児保育室「こあら」の利用者は年々増加している。

病院に併設され医師が常駐していること、また病気中から継続して病後も保育を行ってもらえるなどの理由で、東海中央病院が選択されていると考えている。

▼問 救急搬送された5603人の主な搬送先とその割合は。

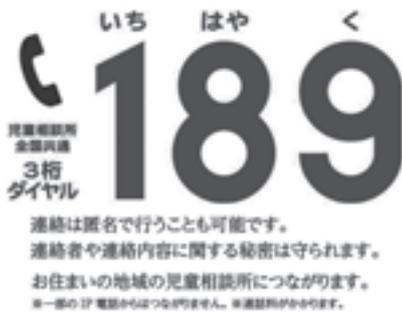
▼答 東海中央病院が約48%、次いで岐阜県総合医療センターが約23%である。

▼問 児童虐待の相談件数が大幅に増加している要因は。

▼答 1つ目に、虐待についての社会的認知が進んだこと。

2つ目に、虐待通報ダイヤル189（いちはや）が、平成27年7月から開設され、通報環境が整ったこと。

3つ目に、学校や警察などの関係機関との連携が進んだことが要因だと考えている。



児童虐待かも…と思ったら、189番へ

▼問 相談件数が増加しているが、市の対応は。

▼答 平成28年4月に家庭児童相談員を1人増員した。

10月には子育て相談係を新設し、児童虐待やひとり親、DV被害相談な

どの窓口を集約し、相談体制の充実・強化を行った。

また、平成29年度から教員のOBを配置し、学校や教育委員会との連携の強化を図っている。

▼問 寺子屋事業は平成28年度に「バージョンアップ」を行ったが、福祉体験学習の変更点は。

▼答 平成27年度までは、障がいについて学ぶコースと高齢者について学ぶコースを1日で実施していたが、平成28年度からそれぞれ1日ずつにコースを分け、ゆっくり体験してもらうことにした。

また、福祉の現場で働かされている人、福祉関係の学校へ通われている人との話し合いの場を持ち、子どもたちの職業観を育むような内容へと充実を図った。

平成28年度介護保険事業特別会計決算の認定

▼問 平成27年度と比較して、要支援1・2ともに介護認定の件数が減少している要因は。

▼答 市が実施している介護予防に参加していた人など、市民が積極的に介護予防の取り組みをされていると考えている。

▼問 スプリンクラーと自動火災報知機を2事業所に設置するものであるが、市内高齢者施設の設置状況は。

▼答 今回の設置により、対象となる全ての事業所への設置が完了する。

経済教育 常任委員会

平成28年度一般会計決算の認定(所管分)

▼問 ふれあいバスは、平成27年10月に路線などが大幅にリニューアルされたが、利用者はどれだけ増えたのか。

▼答 平成27年度の利用者は17万2151人、平成28年度は19万8632人で、15.4%増えている。

▼問 ふれあいバスやふれあいタクシーの利用者の声は。

▼答 毎年、各地区12会場を回り、対話形式で市民の声を聞いている。

平成28年度は、バスの停留所を増やして欲しいとの要望や、ふれあいタクシーを地元の商業施設や鉄道駅に接続して欲しいといった要望があったため、バスの停留所の新設やダイヤの改正を行った。

▼問 平成28年度に開催された各務原マーケット日和の参加者数は。

▼答 約2万3000人の参加があった。



第3回各務原マーケット日和(学びの森)

▼問 平成28年度に生徒の学習環境向上のため、中学校8校に冷暖房設備を整備したが、小中学校で未整備の学校は。

▼答 全ての小中学校で整備が完了した。

▼問 人づくり講師を減らし、特別支援教育アシスタントを増やしたが、効果は。

▼答 特別支援教育アシスタントの配置時間を300時間増やすことよって、より学校のニーズに応じた支援ができるようになった。

▼問 商店街等電灯料補助事業は予算に対して、執行率が低くなっているが、その理由は。

▼答 LED化工事も進んでいるので、想定よりも電気料金が安くなったと考えている。

▼問 山県市で鳥インフルエンザが発生したが、本市が行った対策は。

▼答 市内の養鶏農家でも発生しないよう、感染防止のための消毒用薬剤を配付した。

平成29年度一般会計補正予算(所管分)

▼問 準要保護児童生徒の新入学学用品に係る援助費の支給を入学前に実施するが、対象となる児童生徒数は。

▼答 児童65人、生徒109人を予定している。

建設水道  
常任委員会

平成28年度一般会計決算の認定(所管分)

▼問 犬山東町線バイパス工事の進捗状況は。

▼答 平成28年度は2484平方メートルの土地の取得を行った。現在の事業費ベースの進捗率は87%となっており、平成29年度中の完了に向けて整備を進めている。

▼問 街路樹をどのように剪定しているのか。

▼答 樹種の特性に合った管理を行っている。特に落葉前に剪定をすることに努めており、地元の方の負担も軽減されたと聞いている。

▼問 各務山西部地区土地利用検討事業の内容は。

▼答 採土が終わり平場となった西側15ヘクタールについて、航空法や森林法などの法規制、周辺道路交通や公共交通などの調査のほか、工場用地としての活用を想定した場合の造成計画や道路計画など、開発の基本的条件について検討を行った。

▼問 雄飛ヶ丘第2住宅A棟耐震補強等工事の内容は。

▼答 平成28年度については、耐震補強のフレーム設置工事を完了した。平成29年度は、エレベーターなどの設置工事を



耐震補強フレームを設置したA棟

行っている。

▼問 事業全体の中で、平成28年度の進捗は。

▼答 市営住宅は3団地あり、全部で12棟である。雄飛ヶ丘第2住宅A棟は1棟目である。

▼問 日野岩地大野線整備事業の用地取得と工事の進捗状況は。

▼答 用地取得の状況は、市道那378号線が平成28年度末で面積比95.3%、県道岐阜那加線が平成28年度末で71.7%、市道那168号線は、平成27年度で全て完了している。

なお、事業費ベースの工事の進捗率は約30%である。

▼問 百曲第2排水区実施設計業務委託事業の内容は。

▼答 那加甥田町地内の雨水は、排水路により新境川へ放流しているが、降水時に新境川の水位が上昇すると逆流防止用のゲートが閉まる構造のため、排水できず、浸水被害の原因となっている。

そのため、県と協議を行い、排水ポンプによる強制排水を行うこと同意が得られたため、実施設計を行った。

▼問 墓地整備について、市民に行った意向調査の結果は。

▼答 従来の墓石がある墓を求めの方が35%、共同でまつられる墓を求めの方が33%であった。また、墓地保持者の50%以上が墓地の引継ぎについて不安があるなどの意見があった。

このような結果から、合葬型の墓地を整備することに至った。

工事委託契約の変更

▼問 木曾川小網樋管改築工事の委託金額が増額となっている理由は。

▼答 仮設堤防設置のための矢板(鉄の板)の打ち込み時に必要な仮設盛土の追加や、樋管周辺の埋め戻しについて、発生土が埋め戻しに適さないことが判明したことから、購入土で対応することなどによるものである。

## 審 議 結 果 (9月定例会)

- 議員派遣の件(市議会だより編集に関する調査)…………… 原案可決・全会一致
- 固定資産評価審査委員会委員の選任(松岡伸浩氏)…………… 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(清水辰巳氏)…………… 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(勝野武雄氏)…………… 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(深尾友一氏)…………… 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(安東節子氏)…………… 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(遠藤久美子氏)…………… 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(浅野清美氏)…………… 原案同意・全会一致
- 専決処分の承認(平成29年度一般会計補正予算(第2号))…………… 原案承認・全会一致
- 平成28年度一般会計決算の認定…………… 原案認定・賛成多数
- 平成28年度国民健康保険事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・賛成多数
- 平成28年度介護保険事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・賛成多数
- 平成28年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・賛成多数
- 平成28年度下水道事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・賛成多数
- 平成28年度水道事業会計決算の認定…………… 原案認定・全会一致
- 平成29年度一般会計補正予算(第3号)…………… 原案可決・賛成多数
- 平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)…………… 原案可決・全会一致
- 集会場設置条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致
- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・賛成多数
- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・賛成多数
- 地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致
- 介護保険条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致
- 土地改良事業分担金徴収条例及び岐阜中流用水使用料徴収条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致
- 工事請負契約の締結(雄飛ヶ丘第2住宅B棟耐震補強等工事(建築))…………… 原案同意・全会一致
- 工事委託契約の変更(平成28年度木曾川小網樋管改築工事)…………… 原案同意・全会一致
- 土地の処分…………… 原案可決・全会一致
- 平成28年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分…………… 原案可決・全会一致
- 市道路線の認定(市道鶉1389号線ほか2路線)…………… 原案可決・全会一致
- 市道路線の廃止及び認定(市道蘇北757号線)…………… 原案可決・全会一致
- 市道路線の廃止及び認定(市道鶉718号線)…………… 原案可決・全会一致
- 「改正組織犯罪処罰法」の廃止を求める意見書の提出についての請願…………… 不採択・賛成少数
- 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出を求める請願…………… 不採択・賛成少数
- 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に基づく補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書…………… 原案可決・賛成多数
- 国民健康保険制度都道府県化に関する意見書…………… 原案否決・賛成少数
- 「全国森林環境税」の創設に関する意見書…………… 原案可決・賛成多数
- 杉山元則議員の発言の取り消しを求める動議…………… 可決・賛成多数

審議結果

# 市政を問う 一般質問

9月13日、14日の2日間で一般質問を行いました。  
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

津田忠孝、横山富士雄、瀬川利生、高川明美、水野岳男、  
杉山元則、永沼明子、波多野こうめ、指宿真弓、岩田紀正、  
五十川玲子、小島博彦、黒田昌弘、坂澤博光、大竹大輔

一般質問

## 平成28年度決算

### 財政状況は非常に良好

▼問 平成28年度決算に  
対する市の考えは。

▽答 市税が4年連続で  
増収となったほか、全会  
計において実質収支は黒  
字となった。

また、公共施設の老朽  
化対策や新庁舎の建設と  
いった将来の財政需要に  
備え、着実な基金の積み  
立てを行った。

特に庁舎等整備基金は、  
平成28年度末で約60億円  
となった。

一方、市債は平成28年  
度末残高が約340億円  
となり、平成27年度末よ  
り約20億円減少した。

本市の財政が非常に良  
好であることを決算も示

している。

▼問 平成30年度予算編  
成に向けた市の方針は。

▽答 市民との対話を重  
ね、共に考えながら、こ  
れまで積み上げてきた礎  
の上に育った芽を未来に  
向けて着実に育て、力強  
く伸ばすとともに、引き  
続き、本市の魅力を外  
に伝えていく。

子育て・教育分野の充  
実はもとより、福祉、防  
災、産業・雇用などあら  
ゆる分野で、市民の声を  
大切に、市民・自治会・  
企業などとの連携のもと、  
「選んでいただけるまち」  
となるよう、市の総力を  
挙げて取り組んでいく。

### 公共施設老朽化

▼問 学校施設の耐用年  
数の考え方は。

▽答 施設の状態などを  
調査し、個別に検討する。

▼問 学校施設を長寿命  
化する考えは。

▽答 文部科学省の手引  
きを参酌し、平成32年度  
までに学校施設の長寿命  
化計画を策定する。

▼問 市役所本庁舎の耐  
用年数を80年とする考え  
は。

▽答 本庁舎の耐震化の  
検討にあたり、本庁舎の  
コンクリートの設計基準  
強度や劣化度調査をした  
結果、日本建築学会の建  
築工事標準仕様書に基づ  
き、65年と推測した。

### 所有者が不明な 建物や土地

▼問 所有者不明の建物  
や土地の管理と対応は。

▽答 土地や建物の管理  
責任は所有者にあり、所  
有者が不明でも私有地  
である以上、市が強制力  
を持って管理することは  
できない。

そのまま放置されると  
危険な「特定空家等」に  
ついては、法律に基づき  
対応する。

▼問 管理が適正に行わ  
れていない空き家の把握  
方法は。

▽答 適正に管理されて  
いない空き家がある場合  
は、自治会長に協力をお  
願いし、報告をいただい  
ている。

その情報を基に、市職  
員が全て現状を確認し、  
管理不全の空き家などを  
把握している。

▼問 民間事業者との連  
携の状況は。

▽答 遠方に住んでいる

方や高齢の方などから空  
き家の管理について相談  
があった場合は、シルバ  
ー人材センターを紹介し、  
空き家の現地確認、点検  
報告、草刈りなどの業務  
を所有者から有償で請け  
負う「空き家見守りサー  
ビス」を実施している。

また、広範囲に繁茂し  
ている庭木の適正な管理  
のため、剪定業者を紹介  
してほしいという相談が  
あった場合には「各務原  
市グリーンパーク推進協  
会」を紹介し、造園業者  
が空き家などの庭木の伐  
採、剪定などを所有者か  
ら有償で請け負うサービ  
スも実施している。



業者による庭木の伐採・剪定

# 本市の救急体制

## 同時に8件の救急出動に対応

▼問 救急車の出動状況は。

▼答 平成28年の救急出動件数は5855件で前年より174件増加した。通報から現場到着までの平均時間は7・1分、全国平均より1・5分早く、病院到着も33・1分で6・2分早い。



日々訓練を行う救急隊員

▼問 どのような救急体制をとっているのか。

▼答 救急救命士による高度な処置が行える資機材を積載した高規格救急

車を市内全署所に各1台計7台を配備している。また、救急救命士は31名体制で運用しており、予備の救急車1台と合わせて、同時に8件出動できる体制をとっている。

▼問 救急救命士となるためには、どのような課程を経なければならぬのか。

▼答 消防職員から救急救命士になるには、5年以上の救急隊員の実務経験を経て、救急救命士養成研修所に6カ月入所し、国家試験受験資格を得て、試験に合格する必要がある。

▼問 救急要請の現状は。

▼答 救急要請により医療機関に搬送された方のうち、入院の必要がない軽症事例が41%を占めている。

▼問 増加する救急出動件数を減らす取り組みは。

▼答 通報内容から救急搬送が必要か否かを判断するのは困難である。今後は、傷病者自身による緊急度の判定を支援するスマートフォン向け全国版救急受診アプリや、保護者が子どもの急病やケガの対処判断に迷った場合の「小児救急電話相談#8000番」などの普及啓発をしていく。

### 児童生徒の自殺対策

▼問 教職員への研修は。

▼答 今年度より、全ての教職員を対象に自殺予防教育研修を実施した。教職員が児童生徒のSOSを敏感に感じ取れるよう、研修の充実を図り、心の健康に対する教職員の感覚を高め、児童生徒の尊い命を守るために努めていく。

▼問 相談体制はどのようになっているのか。

▼答 学校においては、教員以外にも、心の教育



新たに設置された「すてっぶ」(中央図書館)

相談員、スクール相談員、スクールカウンセラーなど、児童生徒の心の問題を支援する専門職員を配置している。

また、7月に中央図書館4階に設置された教育センター「すてっぶ」にも専門相談員を配置し、相談体制を整えている。

### 子ども・子育て支援新制度

▼問 新制度での保育施設の様子は。

▼答 幼児期の教育・保育などの量の拡充や質の向上を進める「子ども・

子育て支援新制度」が平成27年4月に開始され2年が経過し、市内では、保育所3施設、幼稚園2施設が認定こども園に移した。

新制度への移行により、市内の認定こども園は5施設、保育所は14施設、幼稚園は12施設となり、保育の受け入れ可能人数は平成25年度から約130人増員している。

▼問 待機児童を出さないために、保育所の利用に関してどのように調整しているのか。

また、保護者への配慮は。▼答 必要な保育士数の確保、保育士の配置やクラス編成を柔軟に行うなど、施設ではさまざまな工夫を行っている。

年度途中の入所では希望する保育所などに空きがないケースもあるが、保護者との丁寧な話し合いのもと、通勤経路などを考慮し、できる限り利便性の高い施設を案内するようにしている。

# 新産業振興ビジョンの策定

## 人材育成やネットワーク形成を新たな柱に

▼問 平成20年に策定した「産業振興ビジョン」が改訂の時期を迎えたが、この10年の成果と課題は。

▼答 成果は、数多くの先端産業分野が集積する本市の特徴を生かした技術開発支援、販路開拓支援、環境整備などを行ったことである。

一方で、策定より10年経過し、新しい技術やビジネスモデル、産業環境に対応しきれなくなっていることなどが課題として挙げられる。

▼問 現在策定中の新ビジョンの方針は。

▼答 新ビジョンでは、変化が繰り返される産業界ニーズを十分に理解し、10年後にも指針となるような要素を取り入れる。そのため、5つの柱として、先端産業支援、主力産業支援、商業・観光・農業振興、人材育成環境

整備、ネットワーク形成を軸に各種事業を推進していく。

### 地方版IoT推進ラポ

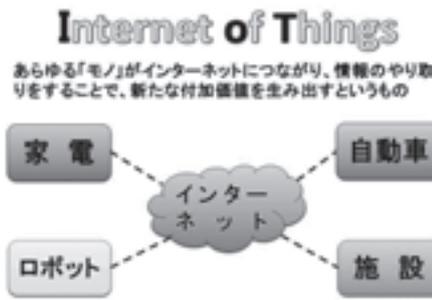
▼問 あらゆるモノがインターネットにつながる「IoT」は、今後多くの効果を発揮すると予想されている。

▼答 IoTは現在産業界が注目する分野であり、特に先端産業が集積する本市においては、今後の産業界全体の方向性を決めかねない重大な課題である。

地方版IoT推進ラポとは、地域におけるIoTプロジェクト創出のため、

地方版IoT推進ラポとは、地域におけるIoTプロジェクト創出のため、

めの取り組みを経済産業省などが支援するもので、新しい産業振興ビジョンにふさわしい取り組みになるものと考え、関係機関と調整し応募した。



IoTのイメージ図

▼問 今後、どのような活動を行うのか。

▼答 本市が進めるIoT推進ラポにおいてもIoT技術の研究を進めており、今後は産業用ロボットの普及促進を行うことを目的とするセンターを開設し、VRテクノロジーなど連携して事業を進める計画である。

まずは、このセンターのPRやイベント・セミナーの開催などにより本

事業の周知に取り組んでいく。

また、ロボットシステムの導入に関心のある企業の紹介や技術者の育成研修を実施していく。

### 雇用対策

▼問 地育地就業の現状とこれからの展望は。

▼答 人口減少が進んでいる現在、地域で育った子どもたちが、地域の企業に就職する仕組みづくりを行うことを目的とし、関係機関と連携を図りながら、新規学卒者や一般の求職者を対象とした求人活動などに取り組んでいるところである。

平成29年度は、市内企業の採用力を強化するための採用力強化支援セミナーの開催や、U・J・タイン就職説明会への参加を予定している。

▼問 ものづくり産業の人手不足を解消する一つ

躍できるよう推進していく考えは。

▼答 潜在的労働力である女性の活躍を推進していくことは、大変重要であると考えている。

平成29年度は、企業向けの採用啓発セミナーに加え、就業マッチング事業をイオンモール各務原に設置した移住定住総合窓口を拠点に取り組んでいく計画である。

特にイオンモール各務原は、子育て世代の母親を中心とした女性の集客が多く見込める会場であるため、合同企業説明会や再就職支援事業などを実施する。



イオンで実施した適職診断講座

# 暮らしを守るための浸水対策

## 浸水被害が多い区域を優先し整備

▼問 雨水整備計画の内容と手法は。

▼答 局地的な集中豪雨の発生や、農地などの減少に伴い、短時間に河川などに雨水が流れ込むため、道路冠水などの浸水被害がたびたび発生している。

その対策として、市内で浸水被害が多い区域を優先して雨水幹線や貯留施設などの計画的な整備を実施している。

平成28年度末に、当面整備する区域を1522ヘクタール、延長44キロメートルと定め、幹線の整備を進めている。

また学校周辺の浸水状況などを考慮し、市全域で15校の校庭内に貯留施設の整備を計画している。

▼問 雨水整備計画の進捗状況は。

▼答 平成28年度末の整備状況は1054ヘクタ



校庭貯留施設（稲羽西小学校）

ール、33キロメートルが完了し、整備率は75%である。

▼問 今後の浸水対策の具体的な取り組みは。

▼答 雨水幹線は、実施計画に基づき伊吹第2雨水幹線、北山雨水幹線などを整備していく。

### 自転車の活用推進

▼問 自転車の活用に関

する本市の考え方は。

▼答 自転車は地球環境への負荷が少なく、災害時に活用できるほか、渋滞の緩和や健康増進などの効果も期待できる。

本市の地形は、比較的平坦で自転車利用に適しているため、活用を推進する計画の策定について、調査研究していく。

▼問 自転車や歩行者に配慮した道路整備を行う考えは。

▼答 歩道との段差を解消するとともに、水たまりのできにくい透水性舗装にするなど、バリアフリー歩道に順次整備していく。

▼問 放置自転車対策は。

▼答 平成28年度の市の管理する駐輪場での処分台数は約150台である。駐輪場の管理人が朝夕の巡回で見出し、注意や撤去を促すなどして減少に努めている。

▼問 自転車を安全に走行するために、どのように指導しているか。

▼答 小中学生、高齢者

に対して、交通専任指導員が安全な自転車の乗り方、交通ルールなどを教える交通安全教室を行っている。

また、自転車販売店の協力のもと、中学校・高校での自転車点検やマネーアップの啓発を行っている。

今後は、警察署、交通安全団体、学校、企業なども連携し、自転車の保険加入の促進や交通安全啓発などを行っていく。

### 歴史資源の活用

▼問 坊の塚古墳の現状と展望は。

▼答 平成27年度から始めた発掘調査により、古墳築造当時の姿が明らかになってきた。

平成31年度の全体の概要調査後、設計・工事に入り、樹木の伐採など、全体の形が良く分かるように整備して公開するほか、シンポジウムや企画

展を開催する予定である。

▼問 各務原ブランドとしての村国座の活用は。

▼答 文化財を利用した文化事業の発展のため、村国座を会場として、文化協会をはじめ各種団体が音楽コンサートなどを開催し好評を得ており、利用や見学の問い合わせも増えている。

平成30年10月には、明治150周年の冠を掲げた記念事業として「ひだみの歌舞伎大会」を村国座において実施する。

この機会に、各務原ブランドとして村国座と子供歌舞伎の知名度を向上させるようPRしていく。



村国座で行われる子供歌舞伎



# こんな街がいいな!

～わたしたちの夢・願い～

### もっと素敵な街に



鵜沼小伊木町  
小田 高士さん

各務原市に引越しをして、もうすぐ19年になります。

とても住みやすく素敵な街だなあと感じます。

しかし、市内の公園で走り回って遊ぶ子どもたちの姿をあまり見る事がありません。

年々、子どもたちの遊ぶ時間が奪われています。

県内どこの地域も同じかもしれませんが、各務原市として子どもが外で遊ぶことの大切さを推進していただけると、さらに住みやすい街になると思います。

今後も地域の子どものために力を費やし、子どもの遊び場作りの輪を広げていきたいです。

### 近隣ケアに携わって



新鵜沼台  
井上 益子さん

緑豊かな鵜沼に住んで早いもので40年になります。

高齢化も進み、私もその仲間入りに近づいております。

5年ほど前、近所の方から近隣ケアを手伝ってほしいと声をかけられました。

各自治会単位で活動する自発性、協調性、無償性を原則とするボランティアで、高齢者が安心して暮らせることを願い、見守っていただくというグループです。

同じ自治会にいても、顔も知らず、挨拶もしたことがなかったのに、今では大勢の方と話をし、元気に年を重ねられた方にパワーをもらっています。

今後も頑張って続けていきたいと思っています。

### MTBを楽しもう



那加前洞新町  
三原 貞路さん

マウンテンバイクはなかなか走るコースが無いのが愛好家共通の悩みでしたが、自然遺産の森にできたコースは小さな子どもから、初心者、ベテランまで楽しめる素晴らしいコースです。

コースの維持管理は、地元の自転車屋さんを中心としたボランティアの協力のもと行われており、いつも安全・快適に利用できるのは本当にありがたいです。

年に一度「かかみ野MTBフェスティバル」と称した大会も開催されていて、遠くは大阪、広島からも参加者が集まります。

今後もMTB愛好家の集う街、各務原になればいいなと思っています。

## ひびく

▼議会で決まることは、市民の暮らしに直接関係のあることばかりです。

市議会だよりは、議会で、どのような議論が交わされ、何が決定したのかを傍聴できなかった市民の皆様にお伝えする重要な役割があります。

市民の皆様が、1票を投じた議員や議会をしっかりとチェックできるような情報を正確にお届けできる紙面づくりに努めていきます。

市民の皆様は市政に関心を持っていただき、議会傍聴に行きたくなくなるような市議会だよりを目指します。(古川明美)

▼各務原市議会定例会は基本的に3月、6月、9月、12月に行われます。その中でも3月は予算議会、9月は決算議会として、提出される議案の量も多くなります。

今回の9月定例会では決算認定の議案に多くの

質疑がありました。限られた紙面で全てを載せることはできませんが、市議会だより編集委員が記事内容を精査し、わかりやすく伝えられるように努力してまいります。

今後も読みやすくなるよう工夫してまいります。(水野岳男)

### 市議会だより編集委員会

- 委員長 津田 忠孝
- 副委員長 指宿 真弓
- 委員 古川 明美
- 水野 岳男
- 塚原 甫
- 小島 博彦

### 市議会を見にきませんか?

#### 平成29年12月定例会の日程(予定)

11月30日	本会議 開会
12月13日・14日	本会議(質疑、代表・一般質問)
12月18日・19日	常任委員会
12月22日	本会議 閉会

※日程は議事の都合により変更になる場合があります。



環境保護のため植物インキを使用しています。